



## 凝固検査

No	検査項目	材料 検体量	検査法	単位	参考基準値		所要 日数	備考
					イヌ	ネコ		
69	プロトロンビン時間 (PT)	クエン酸血漿 0.2mL	Quick 一段法	秒	6.0~8.0	7.0~11.5	1~3	専用容器 冷凍
70	活性化部分トロンボプラスチン 時間 (APTT)	クエン酸血漿 0.2mL	活性化法	秒	12~18	10~15	1~3	専用容器 冷凍
71	フィブリノゲン定量 (Fib)	クエン酸血漿 0.2mL	トロンビン 時間法	mg/dL	200~400	50~300	1~3	専用容器 冷凍
72	アンチトロンビン活性	クエン酸血漿 0.2mL	合成基質法	%	92~116	101~129	1~3	専用容器 冷凍
73	フィブリン・フィブリノゲン 分解産物定量 (FDP)	クエン酸血漿 0.5mL	ラテックス法	μg/mL	~5.0	~5.0	1~3	専用容器 冷凍

※項目No.69~72の同時測定 検体量は0.5mL・73の検体量は単独で0.5mL必要です。



## アレルギー検査

所要日数は、土日祝は含みません

No	検査項目	材料 検体量	検査法	参考基準値		単位	所要 日数	備考
				イヌ	ネコ			
122	犬・猫アレルギー検査 36抗原 [血清抗原特異的IgE検査 アラセプトパネルテスト]	血清 1.5mL	ELISA	(-) : 150未満	(-) : 150未満	EAU	6~8	冷蔵

### アレルギー検査 36抗原

室内吸入群	花粉群	食物群
コナヒョウヒダニ	ギョウギシバ	牛肉
ヤケヒョウヒダニ	ホソムギ	豚肉
アシフトコナダニ	ヒロハウシノケグサ	羊肉
ケナガコナダニ	セイバンモロコシ	鶏肉
サヤアシニクダニ	ブタクサ	卵
ノミ(唾液)	ヒメスイバ	魚肉
ゴキブリ	ヨモギ	小麦
アルテルナリア	アキノキリンソウ	コーン
クラドスポリウム	スギ	米
アスペルギルス	シラカバ	大豆
ペニシリウム	マツ	ミルク
蚊	モミジ	乳清

### 花粉カレンダー

原因植物名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日本スギ												
シラカバ												
カエデ												
マツ												
ギョウギシバ												
セイバンモロコシ												
ホソムギ												
ヒロハウシノケグサ												
ヒメスイバ												
ブタクサ												
ヨモギ												
アキノキリンソウ												

※花粉の飛散時期は、地域や気候によって変動しますので、参考としてご利用ください。





代表的な原因植物 < アレルゲン >

2~5月の代表的な原因植物



日本スギ

**分布** 本州以南  
**特徴** 常緑針葉高木  
 建材などに利用する目的で植林された為、広く日本各地に分布しています。春先の花粉アレルギーの主な原因となっています。



シラカバ

**分布** 本州中部以北の寒冷地  
**特徴** 落葉高木  
 本州以南のスギ花粉に対し、北海道の春先の花粉アレルギーの原因となっています。家具材や建築の内装に使用されます。シラカンバともいいます。



カエデ

**分布** 日本全土  
**特徴** 落葉中高木  
 日本に自生するカエデは約25種と言われていています。街路樹や庭園樹としても広く親しまれています。

4~7月の代表的な原因植物



マツ

**分布** 日本全土  
**特徴** 常緑針葉高木（一部落葉樹もあり）  
 日本には9種が自生していると言われていています。種類により葉の形が若干違ったり、束になっている葉の枚数が異なります。



ギョウギシバ

**分布** 本州以南  
**特徴** イネ科の多年生植物  
 空き地やグラウンドなどに広く育成する野草です。茎の先から手のひら状に穂を付けます。



セイバンモロコシ

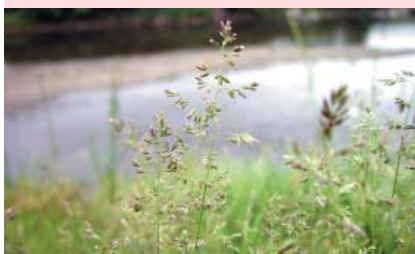
**分布** 関東以西  
**特徴** イネ科の多年生植物  
 ユーラシア大陸原産の帰化植物。2m近くまで成長し、温暖な地方では、徐々にススキに取って代わりつつあります。

5~7月の代表的な原因植物



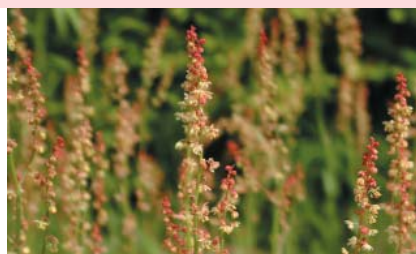
ホソムギ

**分布** 日本全土  
**特徴** イネ科ドクムギ属  
 日本では牧草として栽培されるほか、全国に広く野生しています。



ヒロハウシノケクサ

**分布** 日本全土  
**特徴** イネ科の植物  
 ヨーロッパ、シベリア原産の帰化植物。葉が硬く、牛も食べないことから（牛退け草）と呼ばれる草があり、それに似ており少し葉が広いことからこの名が付けました。



ヒメスイバ

**分布** 日本全土  
**特徴** タデ科の植物  
 公園や道端など身近に見かけることのできる野草です。茎や葉に酢酸を含み酸味があるため、この名前（酸い葉）が付けられました。

7~10月の代表的な原因植物



ブタクサ

**分布** 日本全土の温暖な地域  
**特徴** キク科の一年生広葉植物  
 北アメリカ原産の帰化植物。道端や空き地などで成育しますが、土の柔らかいところを好みます。



ヨモギ

**分布** 本州以南  
**特徴** キク科の多年生広葉植物  
 道端や空き地などいたるところで成育する野草です。食用としても用いられ、若草を入れて草餅にするためモチグサとも呼ばれています。



アキノキリンソウ

**分布** 日本全土  
**特徴** キク科の多年生植物  
 日本全国の草原から明るい森林に生育する。和名は秋に咲く麒麟草であり、花が美しいのでベンケイソウ科のキリンソウにたとえたものという。別名をアワダチソウといい、本種と同属の帰化植物にセイタカアワダチソウがある。